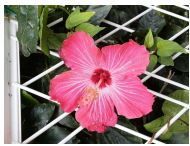


『風は南から』

令和7年度 校長室便り
(3月19日)(第27号)



「もう帰りたくないと思いました」

3月16日(月)のお昼休みに台湾に派遣した生徒達が校長室まで報告に来てくれました。初めて訪れる場所や初めて会う人々に不安はあったものの、自ら飛び込むことですぐに打ち解けて、結果的には「もう帰りたくない」という思いになったそうです。そして、それを可能にしてくれたのが、「来義高校の生徒や先生方の優しさや温かさだった」と皆口々に話してくれました。私も交流をする中で同じように感じ、沖高の生徒たちと気が合うだろうと直感的に感じたので、来義高校との交流を正式にお願いしました。

「高校生のうちに外国に行き異文化を体験できてよかったです」「自分の英語が思ったよりも通じました」「この機会を与えてくれた学校や親に感謝です」とそれぞれ学びが多かったようです。3月23日(月)の「帰国報告会」では、その内容を詳しく報告する予定です。ちなみに私は、生徒が作ったパイナップルケーキをお土産にいただきました。また訪問したくなりました。

普通科「合格体験を語る会」



3月16日(月)5・6限目に普通科1・2年生に向けて、今年の卒業生8名による「合格体験を語る会」を実施しました。生徒の志望先が多岐にわたるため、いろいろな話が聞けるように卒業生の進路先や受験方法も、鹿児島県警、医療専門学校、国公立大学(推薦入試)、国公立大学(一般)と工夫していただきました。会の中では、卒業生が自分の進路を決めた経緯や受験対策等について話をし、1・2年生からは「2次対策への取組は?」「勉強に対するモチベーションを維持するには?」等の質問が出ていました。どの卒業生も共通して「今しかできないことをやりきって」「クラスで勉強する雰囲気を作って」「友達と切磋琢磨して」「分からない問題は先生や友人に遠慮せずに尋ねて」と話していました。

1・2年生の皆さんもそれぞれ刺激を受けたでしょうから、具体的に行動していきましょうね。

2年普通科「書道作品」



2年普通科の生徒が校長室を訪問し、書道の授業で制作した作品について紹介してくれました。廃棄用の空き箱を紙で包装し、その上に自分の好きな言葉をそれぞれ書いていました。好きなアニメの台詞や好きな歌手の歌詞、家訓等、自分がいつも大切にしている言葉の意味や表現で工夫した点について説明してくれました。ひもでつるして飾れるように工夫されていたので、目につくところに掛けておくと、落ち込んだ時に励ましてくれますね。「明日できることは明日しなさい」という言葉がなぜか印象に残りました。どれも素晴らしい作品でした。

「波田野 優さん」との懇談会

私が以前全校朝礼で紹介した能登半島地震で被災した方々へ募金活動に取り組んでいる東京都在住の高校1年生「波田野優さん」が、3月10日(火)



午後来校してくれました。沖永良部島が抱えている課題に興味があるということだったので、「総合的な探究の時間(せりよさ)」で、地域の課題探究に取り組んだ1年生に案内したところ、野瀬さん、福井さん、山田さんの3名が、波田野さんとの懇談会に参加してくれました。

お互いの自己紹介から始まり、終始和やかな雰囲気です。約1時間半の懇談会になりました。1年生の3名は沖永良部島に空き家が多いことから、その解決策に向けて提案した内容を語り、波田野さんは、フィリピンのNPO法人が企画したスタディーツアーに参加し、スラム街に住む子どもたちの人権が侵害されている実態に衝撃を受け、そこから自分で行っている「子どもの人権を守るための活動」等を紹介してくれました。来週は、タンザニアを訪問し人権法律事務所でのインターンをするそうです。その行動力に驚かされます。



同じ高校1年生ということでも共通点も多いわけですが、育った環境や背景が異なることから、それぞれの価値観や考え方の違いお互いに刺激を受けたようでした。波田野さんは、将来へのビジョンを持って地道に努力している3名の姿に感銘を受けたと話していました。また、小さい頃から子どもが地域と深いつながりを持ち、地域の方々が愛情を持って、子どもの教育に関わっていることに驚いている様子でした。とても有意義な懇談会になりました。

沖高支援教室「卒業演奏会」



3月11日(水)12時45分から大島特別支援学校沖高支援教室主催の「卒業演奏会」が行われました。3年生の杉本さんと玉井さんがMCを務め、10名全員で3曲披露してくれました。澄んだ音色のハンドベルによる演奏、そしてダンスノリノリの「宝島」と10名全員が大好きな「マリーゴールド」のバンド演奏と、バラエティーに富んだ選曲でどれも力強く心に響く演奏ばかりでした。観客からアンコールの声もかかり、最後まで盛り上がった素晴らしい演奏会になりました。

知名町商工会青年部より本の寄贈



知名町商工会青年部では、ボランティア活動の一環で毎年学校に寄付をされているそうです。今回は4回目ということで、沖高に寄付をしたいという申し入れがあり、学校からは希望図書をお願いしました。3月11日(水)放課後3名の商工会の方々が来校され、「世界で一番美しい深宇宙図鑑」と「世界で一番美しい分子図鑑」を寄贈していただきました。2冊とも図書館に置いてありますので、探究活動等ぜひ利用してください。知名町商工会青年部の皆様、本当にありがとうございました。